

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートセンター空さんく		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・作業療法士、言語聴覚士による専門指導(OT、ST)がある。	・個別の課題や学習内容を設定する際に参考にでき、支援の方向性を見出しやすい。 ・日々の活動にも反英でき、幅が広がる。	・専門指導での結果をもとに支援し、更なる能力や意欲の向上を目指している。
2	・少人数での生活なので、個別にしっかり関わることができ、より1人1人に合わせた支援を行える。	・集団での活動の中でも余裕を持って行動でき、個々の能力に合わせた柔軟な対応ができる。 ・小学生から高校生まで年齢層が幅広いため、年長者は年下への配慮、年少者は他者との関わり方を自然に学ぶことができている。	・利用者主体の活動を設定し、お互いを尊重し、認め合えるようにしている。他者を目標とし、あるいは目標となることで、成長を促している。
3	・立地、設備が良い。周囲が静かで、目の前に烏ヶ森公園がある。	・ウォーキングや遊具遊びで体を動かす機会を作りやすい。 ・静かな環境で落ち着いて生活できる。	・公園に行くことで地域の方との交流が自然にできる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流がなかなか難しい。	・烏ヶ森公園での戸外活動時に地域のお子さんとの交流は持つことができているが、事業所主体で地域との交流イベントの開催が困難。	・地域への外出機会を増やし、イベントに参加して交流を図りつつ、企画立案の参考にしたい。
2	・保護者同士の交流の機会を作れない。	・父母の会がなく、親子行事の設定も難しい。 ・事業所単体で実施するための時間、労力を確保できない。	・法人内の事業所と連携して、イベントを開催し、親子参加、参観の機会を作ればと検討している。
3	・家族に対する支援プログラムや保護者向けの研修会等の機会が少ない。	・外部の研修会のお知らせを連絡帳ツールにて配信することはあるが、事業所主体での研修会は実施できていない。	・面談や連絡帳を通して家族の悩みを確認し、アドバイスを行う。